

市立三本木中学校初代王者に

～学校創立60周年に花～



熱戦の記録

○1回戦	3-2 草加市立谷塚中学校 (埼玉県)
○2回戦	2-0 UAGクラブ (群馬県選抜)
○準決勝	3-2 白河中央中学校 (福島県)
○決勝	6-0 若松市立第4中学校 (福島県)

監督 上野肇 教諭

三本木中学校は今年創立60周年を迎えました。この記念すべき年に優勝できたのも、三中60年の歴史に関わった全ての人達の想いが導いて下さった結果であると感じています。

近年は、小学校野球の指導に地域の方々が熱心に取り組んでおられ、十和田市のチームが3年連続で県優勝するなど、野球の強豪地区に成長しました。その基盤の上で、保護者の皆様をはじめとする応援団や協力下さった学校関係者、近隣中学校の野球部の先生や保護者会、審判の方など沢山の方に支えられて、まさしく十和田市で勝ち取った優勝でした。本当にありがとうございました。

対戦を振り返ると、「主将対馬」のリーダーシップ、苦しい場面でチームを救った「4番鳥谷部」の長打力、準決勝で大逆転を決めた「木下」の値千金の勝ち越し打、「エース石橋」を中心とする投手陣の踏ん張り、私が相手チームを分析する資料を完璧に作った「野呂」の活躍など沢山の要因が挙げられますが、部員一人ひとりがチームの

市立三本木中学校の野球部が10月13日・14日、福島県で行われた第1回関東・東北少年軟式野球新人大会で見事、優勝を飾りました。1都13県が参加して開催され、各県の強豪を破り、優勝旗を持ち帰ったナインの活躍に、関係者は喜んでいきます。監督の先生と選手に話を伺いました。

ため、支えてくれた人のために戦った結果だと思っています。そして、感謝の気持ちを忘れず、来年の夏は、全国での勝利を熱望されている皆さんの期待に応えます。

主将 対馬 雅史

この大会は、地区や県大会と違って、厳しい場面がいくつもありません。思うように得点できなかつたり、大事な所でエラーができました。でも、どんなに苦しくても仲間を信じ、自分を信じて1試合1試合を勝ち進みました。優勝したことによって、次は全国大会制覇が見えてきました。全国大会に出るためには地区、県、東北大会を勝ち抜かなければなりません。

4番 鳥谷部 勇樹

今年の冬は、厳しい練習になるとは思いますが、関東・東北王者ということを忘れずにしっかりとやります。

まずはじめに、親や野球部の同僚や学校の先生がたなど、本大会に関わったすべての人に感謝したいと思います。

エース 石橋 宗人

大会を振り返ると、緊張することに全く試合に臨むことができませんでした。準決勝で逆転できたのは負けたくないという気持ちで強く持ち、本来のプレーができたからだと思います。

今年優勝できたのは、部員全員で一致団結して、いつも以上に大きな実力を出せたからだと思います。私たちが支えてくれました。多くに関係者にこの場をお借りして感謝したいと思います。

今後は、常に挑戦者であるという謙虚な気持ちを持って、練習に励んでいきます。文武両道な心がけ、常勝できるように頑張っていきます。

問い合わせ先

総務課文書広報係 (☎) 5111内線156